

平成22年度第6回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門 兼 高校生ものづくりコンテスト2010東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立寒河江工業高等学校
事務局 佐々木 裕章

1 はじめに

6月19日(土)～20日(日)、山形市の雇用・能力開発機構山形センターにて、平成22年度第6回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門兼高校生ものづくりコンテスト2010東北大会旋盤作業部門予選会が開催された。19日に練習会、20日に競技が行われた。参加校は、米沢工、新庄神室産、酒田工、山形工、長井工、東根工、寒河江工の計7校、各校代表の7名がエントリーして「全国ものづくりコンテスト」と同じ課題で、約2時間、百分の1ミリ単位の寸法精度が要求される難しい加工に取り組んだ。



写真1 大会風景



写真2 大会風景

2 大会結果

大会結果は、以下の通りである。

優勝		91点
池田 健浩	(酒田工3年)	時間 1:54'
2位		86点
我妻 拓哉	(米沢工2年)	時間 1:51'
3位		78点
沓澤 直樹	(新庄神室産3年)	時間 1:47'

以下、山形工、長井工、寒河江工と続いた。
東根工は棄権した。



写真3 大会参加選手

選手たちは練習してきた成果を発揮しながら、てきばきと作業をすすめていた。審査員の方からは、作業が早く技術・技能のレベルも高くなっているが、今後は測定技術を向上させてほしいとの講評をいただいた。

3 生徒のアンケート

1) 調査内容より

- ・ 部活動で取り組んだ生徒もいるが、大半が先生から勧められて参加した生徒であった。
- ・ 大会までの練習期間は、1ヶ月が3名、2ヶ月1名、3ヶ月が2名であった。
- ・ 練習で製作した個数は、6個～10個未満が2名、10個以上が4名いた。

2) 感想として

- ・ 緊張のため、ミスしないところでミスした。
- ・ ミスをしたら、そこからひきずってしまった。失敗してからの対処の仕方を練習して次に活かしたい。
- ・ 練習で使っていたのと異なる旋盤で製作するのは難しいと感じた。
- ・ 製品を最後まで完成することができてよかった。
- ・ ここで身につけた技術を技能検定等にも活かしたい。

4 おわりに

優勝した、池田君(酒田工)と2位の我妻君(米沢工)は、7月29日～30日に福島県で行われた東北大会に参加した。残念ながら全国大会(東北大会2位以内)に行くことはできなかったが、次年度に期待したい。

引率された先生方をはじめ関係者の協力により、特に問題もなく大会を終えることができました。ありがとうございました。